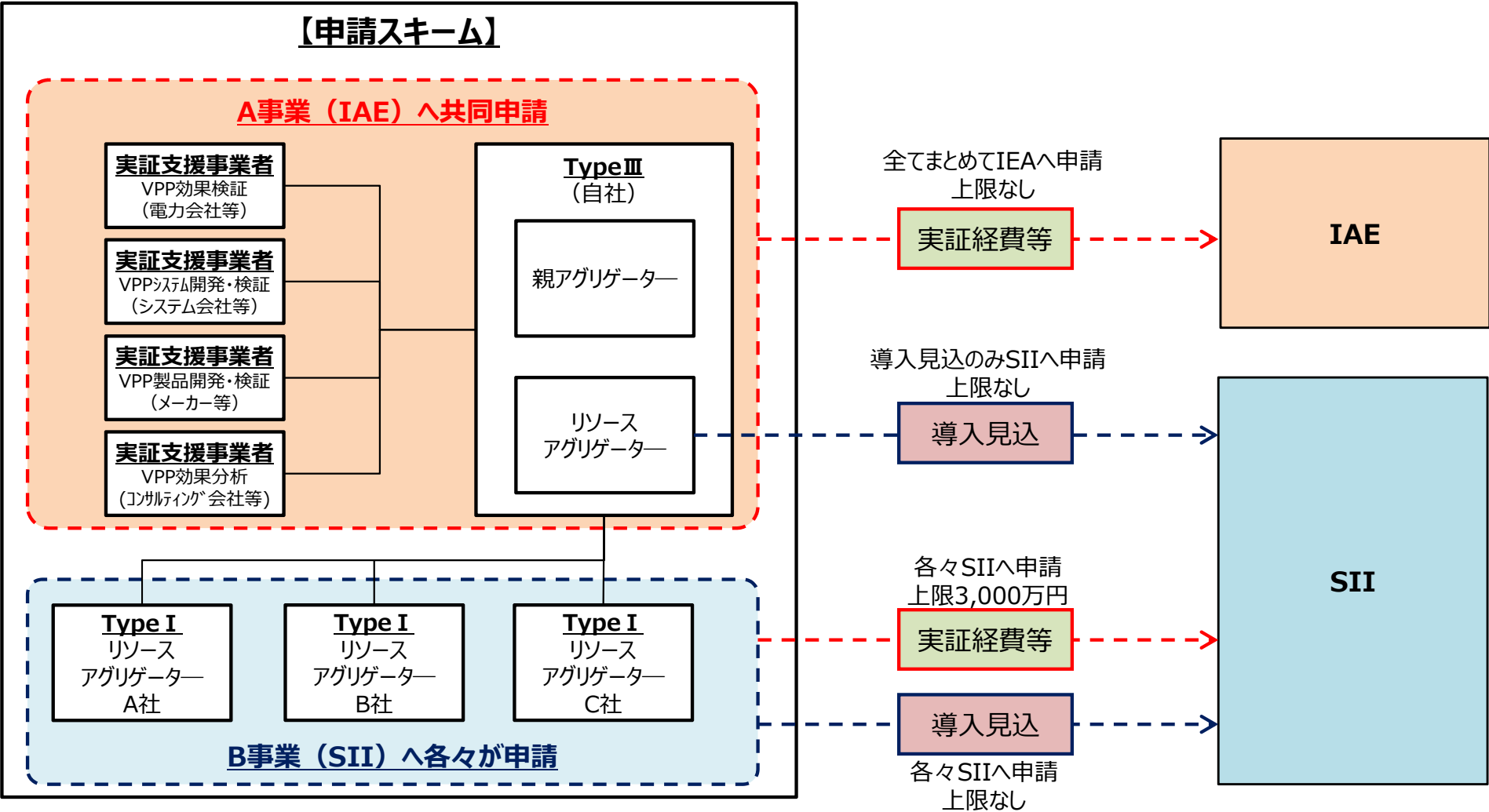


TypeⅢでの申請をご検討中の方へ

- TypeⅢの場合、実証支援事業者※およびリソースアグリゲーターとしての活動分も含めて実証経費は全てIAEに申請すること。
- 導入見込のみ、SIIへ申請すること。（SIIへの申請には実証経費を含まないこと）
- 連携するTypeⅠがいる場合は、各々SIIへTypeⅠとして申請させること。（IAEの共同申請に含まないこと）

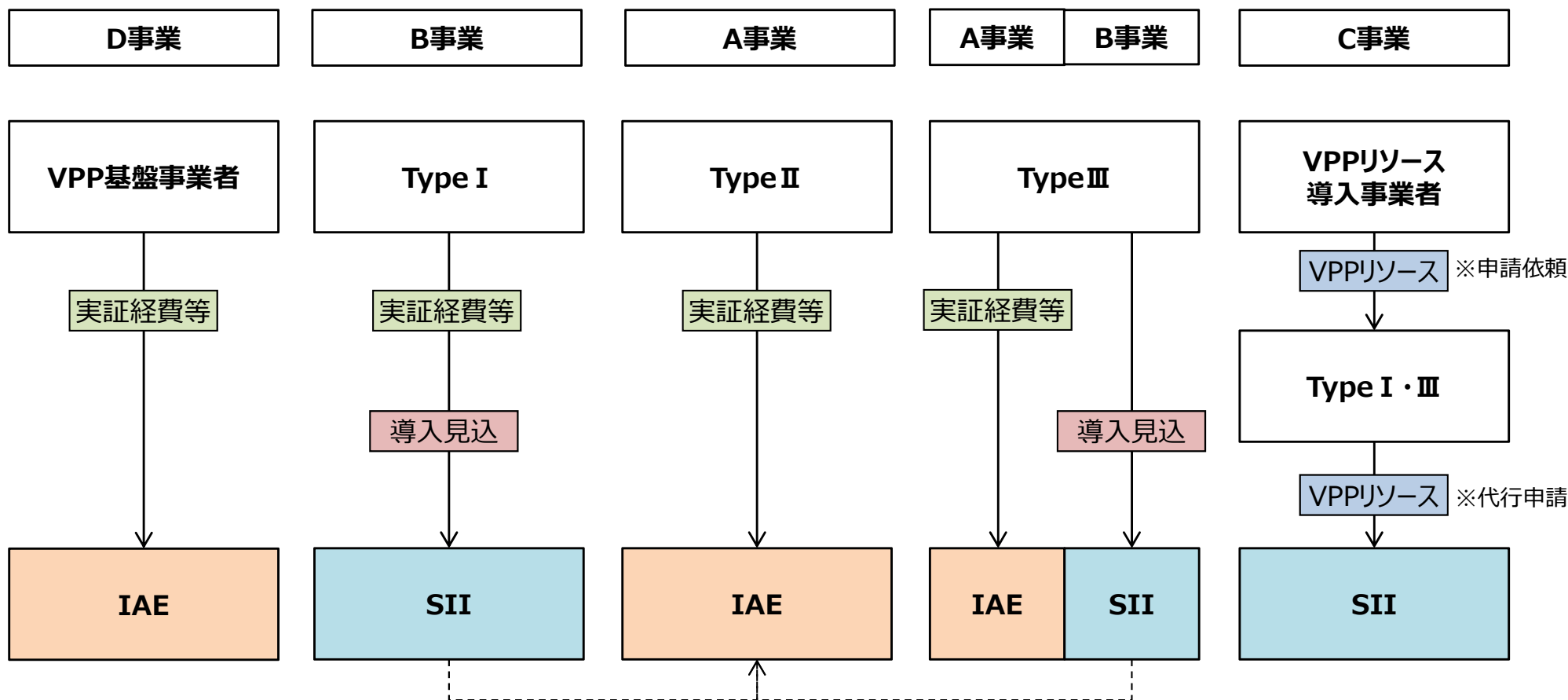


※実証支援事業者とは下記のような事業者のことを言う

- ・本事業の実施に必要なシステム構築や製品開発を行い、当該システム・製品を自社資産として保有する予定の者
- ・本事業の実施のために有用な知見を提供する者

(再掲) 応募パターン別の申請先

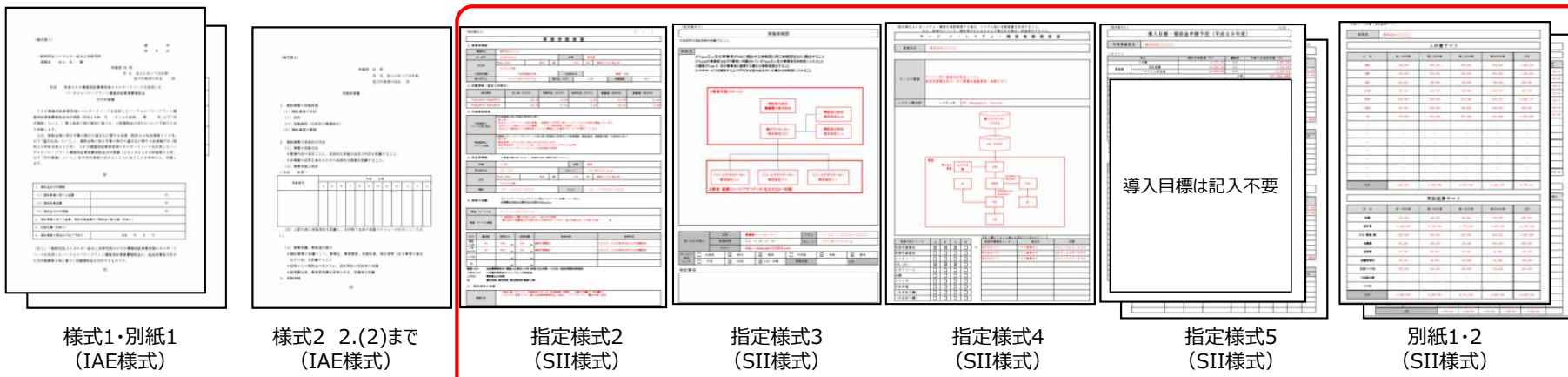
- 各事業とアグリゲーターの分類に応じた申請先と申請項目は以下の通り。
- 実証経費は各事業でIAE・SIIへ申請し、導入見込はSIIへ申請すること。
- C事業はType I・Ⅲの事業者が導入事業者を代行して申請すること。
- アグリゲーターがVPPリソース導入事業者となる場合、C事業で申請を行うこと。(A事業への申請ではない)



導入見込はSIIが親アグリ別に集計してIAEへ連携

- TypeⅢの場合、SIIの様式を利用して双方に申請することができる。(各々の様式での作成も可)
- 押印書類や添付書類が一部異なるため注意すること。

IAE提出資料



様式1・別紙1 (IAE様式)

様式2 2.(2)まで (IAE様式)

指定様式2 (SII様式)

指定様式3 (SII様式)

指定様式4 (SII様式)

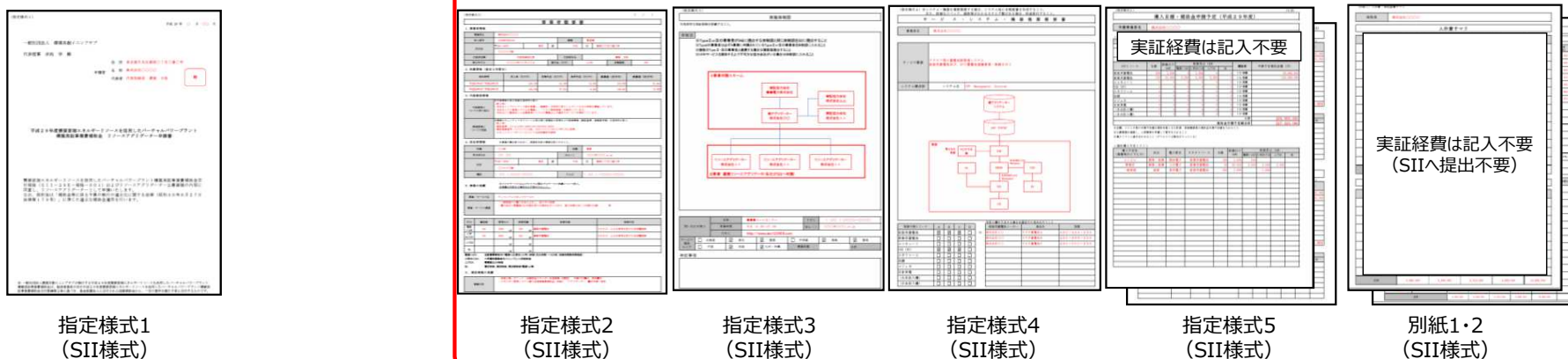
指定様式5 (SII様式)

別紙1・2 (SII様式)

添付資料

- 提案内容補足資料
- 財務諸表2年分
- 役員名簿
- 会社概要
- 申請金額算出根拠資料
- 定款
- 登記簿

共通様式 (コピーで可)



指定様式1 (SII様式)

指定様式2 (SII様式)

指定様式3 (SII様式)

指定様式4 (SII様式)

指定様式5 (SII様式)

別紙1・2 (SII様式)

添付資料

- 業務計画書
- 実証経費見積根拠資料
- 財務諸表2年分
- 会社概要
- 定款
- 登記簿
- コンプライアンス体制図
- 情報セキュリティポリシー
- VPP遠隔制御系資料
- カタログ類

SII提出資料

登録申請と交付申請に関して

- Type I で実証経費等を申請する場合、リソースアグリゲーターの登録通知後に、再度SIIへ交付申請が必要。
- 実証経費等の申請がなくとも、リソースアグリゲーターとしてC事業のVPPリソース導入・代行申請は可能。
- 提出書類は交付申請書（鑑）と別紙1の2枚のみ。（5月下旬に公開予定）
- 交付決定日以降の実証経費しか補助対象とならないため、事前に準備を行い速やかに提出すること。（SIIは数日での交付決定通知発行を予定）
- Type IIIが不採択でType I のみ登録の場合、実証経費の申請範囲をリソースアグリゲーター分のみとし、SIIへ交付申請を行うこと。

